

広がる！！

～港湾活用のモニタリング編～

JF シェルナースの活用

福井県敦賀港、福岡県博多港など5つの港湾水域で活用しているJF シェルナースについて、NPO 法人里海づくり研究会議等の協力の下、今秋より本格的なモニタリングを開始します。ここでそのモニタリングの主な内容をご紹介します。

モニタリングの主な内容と目的

JF シェルナースを設置することで生き物が増え、物質循環や水質浄化が促進されます。港湾のような流れの弱い水域では、その効果がより顕著であることが想定されます。そこで、改善効果を数値化して正確に把握することを目的に、右の枠内に示した内容の調査を行います。

主な調査内容

- 環境（水温等）
- 魚介類調査
- 海藻類調査
- 固着潜入動物調査
- 有機懸濁物調査
- 流向流速調査
- 有機物の堆積量・C/N 比及び安定同位体比
- 固着潜入動物の C/N 比及び安定同位体比
- 固着潜入動物による有機物取り込み速度など

モニタリング水域と JF シェルナースのタイプ

水域	活用施設	特徴
①福井県敦賀港	水質改善礁	防波堤マウンドに設置
②福岡県博多港	博多港湾型	湾奥の海底に設置
③京都府舞鶴港	舞鶴港湾型	栈橋の鋼管杭に取付
④高知県宿毛港	宿毛港湾型	防波堤壁面に取付
⑤宮崎県細島港	リングタイプ	防波堤壁面・マウンドに取付

①福井県敦賀港



平成 21 年度に設置

4 種類の水質改善礁
全体でアサリ 16 万個分の
浄化効果を確認！！



多くの魚介類が生息

②福岡県博多港



15日間の連続観測をしました

③京都府舞鶴港



稚ナマコの生息を確認済みです

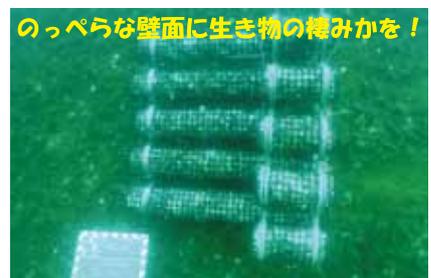
④高知県宿毛港



取り付け半年後

すでに色とりどりのお魚が・・・

⑤宮崎県細島港



のっぺらな壁面に生き物の棲みかを！

写真提供：(株)大本組